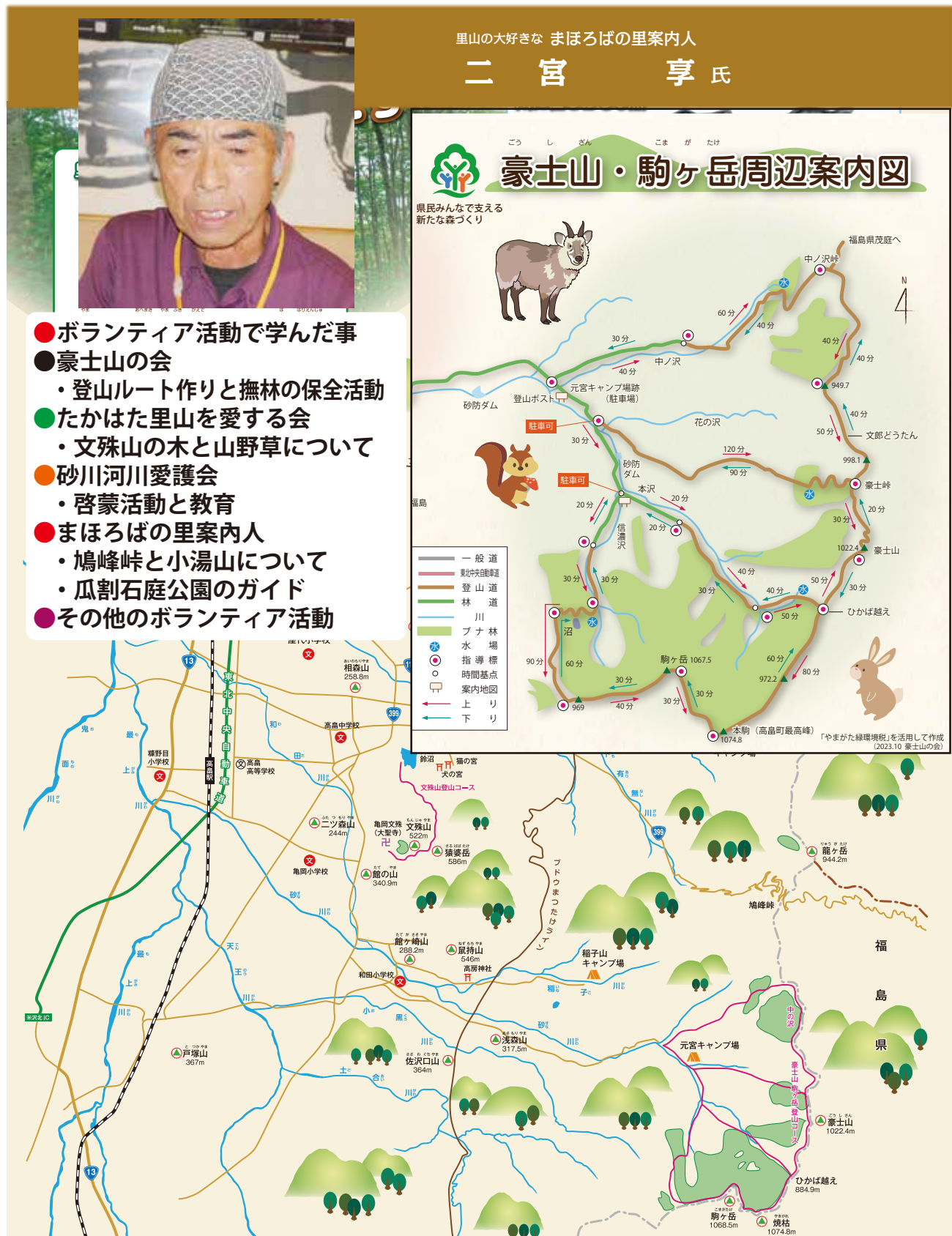




里山の大好きな まほろばの里案内人 二宮 享 氏

- ボランティア活動で学んだ事
- 豪士山の会
 - ・登山ルート作りと撫林の保全活動
- たかはた里山を愛する会
 - ・文殊山の木と山野草について
- 砂川河川愛護会
 - ・啓蒙活動と教育
- まほろばの里案内人
 - ・鳩峰峠と小湯山について
 - ・瓜割石庭公園のガイド
- その他のボランティア活動



《出席報告》

会員数 46名 出席者数 17名 出席率 36.96 %
前回修正46名 出席者数 25名 出席率 54.35 %

《メーカーアップ》

鈴木征治 君・大浦英祐 君・桑島周士 君・平 清美 君
皆川賢治 君・土屋 衛 君・青木道春 君・後藤隆暢 君

Rotary

Rotary International District 2800
2024～2025
TAKAHATA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT

ロータリーの
マジック

10月5日

会長 金子 良弘 幹事 梅津 陽一郎 例会 毎週木曜 12:30～13:30 旅館 エビスヤ 事務局 山形県高島町高島 911-2-2F tel 0238-52-5440 fax 52-5444

本日の例会 [2709 th] 2024.10.5

移動例会
ロータリー奉仕デー
「それぞれの最上川 PartⅡ」
いも煮会 (和田親水公園)

前回の例会 [2708 th] 2024.9.26

里山の大好きな まほろばの里案内人

二宮 享 氏

- ・点鐘12時30分 金子 良弘 会長
- ・ロータリーの目的斉唱 島 崎 裕 司 君
- ・ロータリーソング それでこそロータリー
- ・ソングリーダー 加藤 由香里 君
- ・S A A 木村 健彦 君

会長あいさつ

金子 良弘 会長

みなさんこんにちは。

初めに、本日の講師の方をご紹介いたします。二宮 享様です。和田の大先輩でもあります。今年の7月ころに瓜割石庭公園に行ったときにボランティアでガイドをなさっていた時には、びっくりしましたが多方面で活躍されていますので後ほど講話をお願いしておりますが楽しみにしております。

今日は、点鐘についてです。日本のロータリークラブでは、例会に限らず様々な会合は点鐘で始まり、点鐘で終わります。外国のロータリークラブでも同様に、例会で点鐘するクラブは少なくありません。外国では例会前に食事をするクラブが多く、食事が終わり、例会を始める切換えの合図として鐘を鳴らすそうです。一方、点鐘の代わりに“Call to Order”、つまり“お静かに願います”の発言で例会が始まるか、発言に続くお祈りの後に例会が始まるクラブもあります。また、点鐘ではなく、木槌を叩くクラブもあるそうです。いずれにしてもケジメをつけるという意味で、例会では点鐘などの儀式が行われているようです。日本では、1920 年頃、東京クラブの例会で点鐘をしていたようですが、それを他のクラブが真似ていったのではないかとされています。当時の日本の学校では、授業の開始・終了時間は鐘を鳴らして知らせる習慣がありました。

また、江戸時代はお寺の鐘で時刻が伝えられました。それだけに、開始・終了のケジメをつけるという意味での点鐘は、日本人の習性に合っているのでしょう。 ちなみに、点鐘は英語でShip's bell や Time bellと言います。その由来は、大航海時代に船上で時間を知らせる鐘 (bell) だったようです。時計がなかった当時、航海の最中に時刻を知ることができたのは、太陽の高度が最大になった正午 (12時) だけでした。正午以降は、30分毎に砂時計をひっくり返しなが、時刻を計っていたのです。そして、砂時計をひっくり返す30分毎にタイムベルを鳴らし、船内に時間を知らせていたそうです。新クラブを結成した際、「新クラブの旗や鐘は、スポンサークラブが準備して贈呈する」という慣習がありました。実際には地区や国によって様々なようです。

《委員会報告》

広報情報委員会

桑島 周士 委員長

- ・ロータリーの友及びガバナー月信ですが 10 月の第一例会は移動例会となっております、少し早いのですが本日お渡しいたします。いつもの見所ですが、よく確認しておらずお伝えできません。申し訳ございません。

スマイルBOX

誕生祝い

皆川 賢治 君

- ・会社の事業でのデジタルアートと電子チケットが山新に載りました。

梅津陽一郎 君

- ・本日の講演をお願いしたところ快くお引き受け頂きありがとうございます。

桑島 周士 君

- ・ゲストの二宮さんにはお越しいただきましてありがとうございます。

金子 良弘 君

- ・孫が全国中央協議会の奨励賞を受けました。

皆川 賢治 君